創造演習 I(Seminar for creative thinking I)

本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
機械電気	必修	1 年	1	演習	三浦靖一郎 藤本浩

【授業の概要】
資源のない日本が経済的な力を維持していくには、新しい価値を生み出す創造的な人材育成が必要である。その様な人材を育てることを目標とした創造教育が、機械電気工学科で行われている。そのスタートラインが創造演習Ｉである。特に、学生が創造力を身につけるには、様々な事柄に興味や関心を持ち、それらの事柄の現状把握、課題発見、解決方法、考案などができなければならない。本演習を通じて自分の知識の幅や深さを広げ、自分で学ぶ方法を身につけテーマについて、まとめたりする能力を向上させる。

【授業の進め方】
前期 :
発表・報告書作成に必要なアップリケーション・ソフトウエアの基本的な使い方を学ぶ。パテント・コンテスト出願に向けての特許調査とアイデアの創出を行い、発表する。
後期：
オリジナル・テーマについて調査研究を行い、発表する。

【授業の概要】

------　前期 ----------

コンピュータ・リテラシー
ポータブル・アプリケーションの使い方
特許調査
特許アイデア発表

------　後期 ----------

自主研究についてのオリエンテーション
自主研究･個別指導
演習成果発表

【到達目標】	・自分が興味あるテーマを見出し、ＨＰ上で調査を自ら行う。そしてテーマに関する課題や疑問点を設定し、それらに対して自らの発想で解答を見いだす。 ・テーマに対して資料探索の方法、資料を使ってストーリーを展開する力、課題を見出す力、課題に関して解答を生み出す発想力、まとめる力、資料作成力などを養成する。		
【徳山高専学習・教育目標】	C2	【ＪＡＢＥＥ基準】	
【評価法】	前後期に作成した課題と発表を総合評価する。テーマに関し適切な課題を設定しているか、課題に対して妥当な解を得ているか、資料調査や調査方法は妥当か等を総合評価する。報告資料 70%、発表 30%の配分とする。		
【テキスト】	学生自らがテーマ設定や資料探索をする。		
【関連科目】	本科：創造演習 II、創造製作 I、創造製作 II、産業財産権、ベンチャービジネス論、工学セミナー、卒業研究（自己提案型卒業研究）など		
【成績欄】	前期中間試験【　　】 前期末試験【　　】 前期成績【　　】 後期中間試験【　　】 後期末試験【　　】 学年末成績【　　】		